

基準 8 施設・設備

(1) 観点ごとの分析

観点 8 - 1 - : 大学において編成された教育研究組織の運営及び教育課程の実現にふさわしい施設・設備が整備され、有効に活用されているか。また、施設・設備のバリアフリー化への配慮がなされているか。

【観点到係る状況】

本学は、人文社会系・教育系・自然科学系の黒髪地区、医学系及び附属病院の本荘・九品寺地区、薬学系の大江地区、附属小・中学校の京町地区及び附属幼稚園の城東町地区を始め全 11 地区において、多様な教育研究活動を展開している。校地・校舎等面積は資料 8 - 1 - - A のとおりであり、設置基準で定める面積を上回っている。各キャンパスには、講義室、研究室、実験・実習室、演習室等を有するほか、附属図書館、学内共同教育研究施設、課外活動施設等を設置している。このほか、学内資金により国際化推進のための留学生宿舍増築、男女共同参画推進のための保育園整備を行うなど施設の充実を図っている。施設の有効活用を目的として、施設の有効利用に関する要項(別添資料 11)及び教育研究共用スペース運用指針(別添資料 12)を策定し、流動的なプロジェクトにも対応できる共用スペースのマネジメントを行っている(資料 8 - 1 - - B)。使用にあたっては、利用者の募集を行い、教育・研究スペース、若手研究者スペース、新組織スペース、改修避難スペースとして運用している。講義室の稼働率を改善し、余剰スペースに自習室、学生相談室、リフレッシュスペース等を設けるなど学習等環境の向上を図っている。教育研究目標を実現するために施設・環境面から支える重要なガイドラインであるキャンパスマスタープラン(資料 8 - 1 - - C)を策定している。キャンパスマスタープランには、施設課題、ゾーニング、施設整備計画のほか、バリアフリー対策についても、全学施設の主要出入口、廊下等の点検を行い、各施設のバリアフリーに対する指標について評価している。それらを基にバリアフリーマップ(別添資料 13)を作成し、バリアフリーに配慮した施設整備を計画的、段階的に実施している(資料 8 - 1 - - D)。

資料 8 - 1 - - A 校地・校舎等面積

区 分	校地面積 (㎡)	校舎等面積 (㎡)
黒髪北地区	142,935	63,073
黒髪南地区	115,000	87,605
本荘地区	107,551	143,624
九品寺地区	25,761	14,273
大江地区	32,644	16,763
運動場用地	78,540	-
イノベーション推進機構 地域共同ラボラトリー	(*)19,945	2,129
合津マリンステーション	4,903	1,688
その他	145,666	86,465
合 計	672,945	415,620
設置基準面積	156,876	108,717

注:(*)は借用地

出典：施設部資料等を基に作成

資料 8 - 1 - - B 共用スペース (平成 21 年 1 月現在)

運用形態	面積(m ²)	運用カテゴリ		面積(m ²)
教育・研究スペース	13,712	A	教育・研究スペース	12,860
		B	若手研究者を対象としたスペース	852
フレキシブルスペース	7,702	C	新組織スペース	4,574
		D	老朽再生整備事業の避難スペース	3,128

出典：施設部資料を基に作成

資料 8 - 1 - - C キャンパスマスタープラン

(http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/campusjouhou/shisetsu_jokyou/shisetsu_setsubi/campus_masterplan/index.html)

出典：熊本大学公式ホームページから抜粋

資料 8 - 1 - - D バリアフリー整備状況

(単位：%)

地区名等	出入口	廊下等	階段等	便所	点状ブロック等	敷地内通路	駐車場
全施設	大学全体	66	62	57	37	7	17
	黒髪地区	69	59	62	40	5	21
	本荘地区	73	65	63	46	20	26
	大江地区	50	67	33	24	0	0
	京町地区	62	66	42	25	0	0
特別特定建築物	城東町地区	25	80	29	8	0	0
	大学全体	66	77	74	65	20	33
	黒髪地区	35	60	55	44	0	0
	本荘地区	100	90	84	80	33	60
	大江地区	-	-	-	-	-	-
	京町地区	-	-	-	-	-	-
	城東町地区	-	-	-	-	-	-

注 1：全体 (100%) に対する整備状況を示す

注 2：特別特定建築物は、特別支援学校・附属病院を示す

出典：施設部資料を基に作成

別添資料 11 国立大学法人熊本大学施設の有効利用に関する要項
 別添資料 12 国立大学法人熊本大学教育研究共用スペース運用指針
 別添資料 13 バリアフリーマップ

【分析結果とその根拠理由】

本学の校地・校舎の面積は、設置基準上の必要面積を大きく上回り、収容定員上も十分な規模となっている。本学の教育研究を支障なく遂行するための十分な施設設備を有するとともに、共用スペースを確保し外部資金によるプロジェクト研究スペース及び若手研究者用スペースを整備している。講義室の稼働率を改善し、余剰スペースに自習室、学生相談室、リフレッシュスペースを設けるなど学習等環境の向上を図っている。施設整備及びバリアフリー対策は、キャンパスマスタープラン及びバリアフリーマップを策定し、計画的に実施している。

以上のことから、大学において編成された教育研究組織の運営及び教育課程の実現にふさわしい施設・設備が整備され、有効に活用され、また、施設・設備のバリアフリー化への配慮がなされていると判断する。

観点 8 - 1 - : 大学において編成された教育課程の遂行に必要な ICT 環境が整備され、有効に活用されているか。

【観点に係る状況】

本学は、基幹ネットワークとして 10GB、各建物間への支線として 1GB の通信速度を持つギガビットネットワークを敷設している。このほか、無線 LAN のアクセスポイントを 460 箇所以上設置（資料 8 - 1 - - A）している。総合情報基盤センター、附属図書館及び各部局等に約 1,350 台の全学情報教育及び自習支援のためのコンピュータを設置（資料 8 - 1 - - B, C）し、大学院学生を含めた学生の使用に供している。本学構成員は、これらのネットワーク及びコンピュータを利用し、学務情報システム（SOSEKI）（資料 8 - 1 - - D, E）にアクセスし、シラバス参照、履修登録、成績参照等を行っている。英語の自立的学習を支援する熊大 CALL、授業科目ごとに学生の予習・復習を支援する熊大 WebCT、教科書等の検索サービスを提供する図書館 OPAC、就職活動を支援するキャリア支援サイト、学生による授業改善のためのアンケートにこたえる授業改善のためのアンケート結果公開システム等のログイン ID を統合認証に対応させ、熊本大学ポータル（資料 8 - 1 - - F）を統合窓口にするなど、利便性を高めている。このほか、情報資産のセキュリティを確保することを目的に、情報セキュリティポリシー及び情報セキュリティポリシー実施手順書を定めるとともに、個人情報の管理等については、個人情報保護に関する方針（資料 8 - 1 - - G）を明文化し、個人情報保護規則及び管理規則を定めるなど、個人情報を含めた情報セキュリティの徹底に努めている。

資料 8 - 1 - - A 全学無線 LAN アクセスポイント設置状況（<http://www.5a.cc.kumamoto-u.ac.jp/man1/wl/>）

～平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度～
約 150 箇所	約 350 箇所	約 460 箇所

出典：情報化推進会議資料等を基に作成

資料 8 - 1 - - B 総合情報基盤センター及び附属図書館におけるコンピュータ整備状況

学生用コンピュータ設置場所（用途）	～平成 18 年度	平成 19 年度～
総合情報基盤センター（教科の実習、自習等）	920 台	1,230 台
附属図書館（学生の自習、文献検索等）	50 台	120 台
計	970 台	1,350 台

出典：情報化推進会議資料等を基に作成

資料 8 - 1 - - C 各学部等における情報機器室等の整備状況

学部等名	学生自習室・情報機器	情報機器室・情報機器
文学部	自習室・図書室 5 室, 空き教室を時間外自習用に開放	情報機器室, メディア機器室
教育学部	学生控室, 自習室を設けるとともに, 空き教室を時間外自習用に開放	学生用 PC 室 (PC 8 台), 学生支援室
法学部	図書室に加えて, 研究室, 空き教室の空き時間を自習用に開放	
理学部	図書室の閲覧室を開放, その他, 空き教室を時間外自習用に開放	理学部 4 号館計算機室 (パソコン 41 台)
医学部医学科	チュートリアル実習室 (PC13 台)	総合研究棟内の情報処理室 (PC108 台)
医学部保健学科	自習室 (E 棟 1 階共有室を 22 時まで開放, 学生貸出用 PC17 台)	第 1 情報演習室 (PC49 台), 同第 2 室 (PC32 台)
薬学部	図書館自習室 (パソコン 10 台), コンベンションルーム等を自習室として開放	PC 実習室 (PC100 台, 平日 7 ~ 22 時の利用可能)
工学部共通	工学部 2 号館 1 階リフレッシュホール (無線 LAN), 黒髪共通棟 2 階リフレッシュホール (無線 LAN)	9 号館 1 階情報機器室 (PC109 台)
工学部 物質生命化学科	学科図書室 (学生用 PC16 台, 無線 LAN), 棟内各階にフリースペースを設置	
工学部 マテリアル工学科	研究棟リフレッシュホール 2 ヶ所, 図書室の閲覧室 (無線 LAN)	
工学部 機械システム工学科	研究棟リフレッシュホール 9 ヶ所, セミ室 (無線 LAN)	情報統合教室 (有線・無線 LAN)
工学部 社会環境工学科	演習室 (アトリエ, スタジオ, 無線 LAN), 自習スペース (リフレッシュホール 4 ヶ所, 情報コンセント, 無線 LAN)	CAI 演習室 (研究棟 - 9F, 無線 LAN)
工学部 建築学科	自習スペース (リフレッシュホール 4 ヶ所, 情報コンセント, 無線 LAN), 第 1 階製図室 (無線 LAN, 液晶プロジェクター), 第 2 階製図室 (無線 LAN)	コラボレーション演習室 (PC31 台, 液晶プロジェクター, 大型カラープリンタ, レーザープリンタ, スキャナ)
工学部 情報電気電子工学科	自習スペース (リフレッシュホール 15 ヶ所, 無線 LAN)	9 号館 2 階実習室 (実習・実験用 Linux 端末 120 台)
工学部 数理工学科	図書室・自習室, 学習支援室	数理工学科計算機室 (PC16 台)

出典：組織評価自己評価書等を基に作成

資料 8 - 1 - - D 熊本大学学務情報システム (SOSEKI)



出典：熊本大学学務情報システム (SOSEKI) (学内専用) から抜粋

資料 8 - 1 - - E 熊本大学学務情報システム (SOSEKI) の利用状況 (平成 20 年度)

月	利用数	曜日	利用数	時間帯	利用数
4	2,330,398	日曜日	249,317	0 ~ 2 時	45,542
5	380,785	月曜日	1,820,461	2 ~ 4 時	23,969
6	308,925	火曜日	1,789,483	4 ~ 6 時	12,149
7	496,971	水曜日	1,992,710	6 ~ 8 時	26,035
8	624,291	木曜日	1,870,808	8 ~ 10 時	755,616
9	1,041,377	金曜日	1,852,244	10 ~ 12 時	1,658,079
10	1,927,793	土曜日	299,087	12 ~ 14 時	2,076,035
11	343,821			14 ~ 16 時	2,402,121
12	243,275			16 ~ 18 時	1,846,592
1	390,558			18 ~ 20 時	658,882
2	1,170,639			20 ~ 22 時	263,870
3	615,277			22 ~ 24 時	105,220
計			9,874,110		

出典：情報化推進会議資料等を基に作成

資料 8 - 1 - - F 熊本大学ポータル (<https://uportal.kumamoto-u.ac.jp>)



出典：熊本大学ポータルから抜粋

資料 8 - 1 - - G 個人情報保護に関する方針 (<http://www.kumamoto-u.ac.jp/daigakujouhou/daigakugaiyou/kojin.html>)

国立大学法人熊本大学個人情報保護方針

国立大学法人熊本大学では、「国際水準の教育による人材育成と高度な学術研究，産学連携研究，先端医療，高度地域医療」の業務に必要な個人情報を適正に取り扱い，保護するために，以下の方針に基づく取組みを推進します。

1. 法令等の遵守
個人情報保護に関する法令やその他の規範の遵守徹底を図るため，個人情報の保護に関する内部規程を整備し，個人情報の取扱いについて明確な規律を定め，教職員に周知徹底します。
2. 適正な取得，利用及び提供
個人情報は，適正な方法によって取得し，あらかじめ明確に特定した利用目的の範囲内で利用します。利用目的は，法令等の定めに従って，ホームページ等で公表します。
また，ご本人の同意のあるとき，または法令の定める要件を満たしているときを除いて，第三者への情報の提供は行いません。
3. 安全管理
個人情報の管理には細心の注意を払い，不正アクセス，漏えい，滅失及び改ざん等を防止するために必要かつ適切な措置を講じます。
安全管理に関する知識，技能及び意識の向上を図るため，教職員に対する教育研修を実施します。
また，個人情報の取扱いを外部に委託する場合は，委託先の適切な監督を行います。
4. 開示，訂正及び利用停止
本学が保有する個人データについて，ご本人から開示，訂正又は利用停止を求められた場合は，下記「個人情報相談窓口」において迅速な対応に努めます。法令等の定めによって求めに応じられない場合には，その理由を説明することとします。
5. 取組の継続的な改善
個人情報が適正に取り扱われ，保護されているかを定期的に監査し，その結果をもとに継続的な改善を行います。
6. 苦情等の受付
個人情報の取扱いや取扱方針に関するご質問・苦情などは，以下の「個人情報相談窓口」までお寄せください。なお，対応に必要な範囲で本人確認をさせていただく場合があることをあらかじめご承知おきください。
総合窓口：情報プラザ (TEL096-342-3280)
医学部附属病院における患者様の診療に関する個人情報：患者サービス課
苦情相談 患者相談室 (TEL096-373-5972)
開示請求受付 医事係 (TEL096-373-5965)

出典：国立大学法人熊本大学個人情報保護方針

【分析結果とその根拠理由】

有線 LAN としてギガビットネットワークを敷設及び無線 LAN として 460 箇所以上のアクセスポイントを設置し、総合情報基盤センター、附属図書館及び各部局等に、約 1,350 台の全学情報教育及び自習支援のためのコンピュータを設置している。本学構成員は、これらのネットワーク及びコンピュータを利用し、学務情報システム（SOSEKI）により、履修登録、成績参照等を行っている。このほか、情報セキュリティポリシー、個人情報保護方針、個人情報保護規則等を定めるなど、個人情報を含めた情報セキュリティの徹底に努めている。

以上のことから、大学において編成された教育課程の遂行に必要な ICT 環境が整備され、有効に活用されていると判断する。

観点 8 - 1 - : 施設・設備の運用に関する方針が明確に規定され、大学の構成員（教職員及び学生）に周知されているか。

【観点に係る状況】

教育研究活動の変化に応じた効率的な使用を図るため、施設の有効利用に関する要項（別添資料 11）及び教育研究共用スペース運用指針（別添資料 12）を定めている。このほか、安全で快適な施設・設備を維持することを目的に、建物保全マニュアル（別添資料 14）を作成し、構成員に周知している。各施設の利用方法等については、Web サイト（資料 8 - 1 - - A）に掲載している。

資料 8 - 1 - - A 例示：総合情報基盤センターの利用申請と方法（<http://www.cc.kumamoto-u.ac.jp/services>）



出典：熊本大学総合情報基盤センターホームページから抜粋

別添資料 11 国立大学法人熊本大学施設の有効利用に関する要項
 別添資料 12 国立大学法人熊本大学教育研究共用スペース運用指針
 別添資料 14 熊本大学建物保全マニュアル

【分析結果とその根拠理由】

施設の有効利用に関する要項及び共用スペース運用指針を定め、教育研究活動の一層の活性化に資している。このほか、建物保全マニュアルを作成し構成員に周知している。各施設の利用方法等は、Web サイトに掲載し、構成員に周知している。

以上のことから、施設・設備の運用に関する方針が明確に規定され、構成員に周知されていると判断する。

観点 8 - 2 - : 図書館が整備され、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されているか。

【観点に係る状況】

附属図書館は、中央館、医学系分館、薬学部分館で構成され、教育研究活動を支援する情報基盤の一つとして活動し、ネットワークを通じて利用できる電子図書館サービス(各種情報検索、電子ジャーナル、図書発注、文献複写依頼等)の提供などを行っている。附属図書館利用規則(資料 8 - 2 - -A)を定め、図書館利用案内を作成し、開館時間、サービス時間等を周知している(資料 8 - 2 - -B)。図書の選書にあたっては、教職員及び学生のニーズを把握するため、Web 等により情報を取得(資料 8 - 2 - -C)するほか、学生ボランティア(図書館サポーター)による選書等を実施した結果、教養図書が充実した。中央館は放送大学との合築により、医学系分館は医学教育図書棟の新築により、それぞれ閲覧室の整備、収容力の拡大等を行った(資料 8 - 2 - -D)。現在、蔵書約 130 万冊、雑誌約 2 万種(資料 8 - 2 - -E, F)を備えている。電子ジャーナルの充実に向けた取組(資料 8 - 2 - -G)の結果、約 5,500 タイトルの電子ジャーナル等(資料 8 - 2 - -H)を提供し、大手出版社のダウンロード数は約 36 万件となっている(資料 8 - 2 - -I)。一般市民への図書館開放も行っており、図書の貸出(3,318 冊)を可能とするなど、地域住民の生涯学習への支援も行っている。大学の知的生産物である学術論文等を蓄積、保存し、インターネット上で発信する学術リポジトリの構築に向けた取組(資料 8 - 2 - -J)の成果として、約 6,000 編(内博士論文 580 編)の収録論文数を有している(資料 8 - 2 - -K)。そのほか、阿蘇家文書、細川家北岡文庫等の貴重資料を有し、それらを電子化し、Web 上で公開している(資料 8 - 2 - -L)。開館日数は各館とも約 330 日前後、入館者総数約 55 万人、館外貸出総冊数は約 6 万冊、文献複写及び相互貸借総数約 1 万件と多くの者が利用している(資料 8 - 2 - -M~O)。

資料 8 - 2 - - A 附属図書館利用規則（抜粋）

(趣旨) 第1条 この規則は、熊本大学附属図書館規則(平成16年4月1日制定)第9条の規定に基づき、熊本大学附属図書館(以下「図書館」という。)の利用に関し必要な事項を定める。 (利用者の範囲) 第2条 図書館を利用することができる者(以下「利用者」という。)は、次に掲げる者とする。 (1) 国立大学法人熊本大学の役員及び職員(以下「役職員」という。) (2) 熊本大学(以下「本学」という。)の学生 (3) 本学の名誉教授 (4) 学外者 (証明書等の提示) 第3条 利用者は、身分証明書等を携行し、図書館職員(以下「係員」という。)の請求があったときは、これを提示しなければならない。 (閲覧) 第7条 利用者は、図書館資料(以下「資料」という。)を閲覧しようとするときは、所定の場所で閲覧しなければならない。なお、閲覧後は当該資料を所定の位置に返却しなければならない。 2 館長は、次に掲げる場合、資料の閲覧を制限することができる。 (1) 独立行政法人等の保有する情報の公開に関する法律(平成13年法律第140号。以下「情報公開法」という。)第5条第1号、第2号及び第4号イに規定する情報が記録されていると認められる場合における当該情報が記録されている部分 (2) 個人又は情報公開法第5条第2号に規定する法人その他の団体(国、独立行政法人等及び地方公共団体を除く。)から寄贈又は寄託を受けている場合で、当該資料の全部又は一部を一定の期間公にしないことを条件にしているときの当該期間が経過するまでの間 (3) 資料の原本を利用させることにより、当該原本の破損若しくはその汚損を生じる恐れがある場合又は図書館において当該原本が現に使用されている場合 (一般貸出) 第8条 利用者は、所定の手続を経て資料の館外貸出(以下「貸出」という。)を受けることができる。 2 前項の規定にかかわらず、次に掲げる資料は貸出を受けることができない。ただし、館長が特に認めた場合は、この限りでない。 (1) 貴重書 (2) 特殊文庫資料 (3) 参考図書 (4) 記録 (5) 文書 (6) 視聴覚資料 (7) 電子的資料 (8) その他館長が特に指定した資料 3 貸出を受けた利用者は、当該資料を自ら管理し、他人に転貸してはならない。 4 貸出冊数及び貸出期間については、別に定める。
--

出典：熊本大学附属図書館利用規則（平成21年4月1日現在）から抜粋

資料 8 - 2 - - B 附属図書館の開館時間等の案内 (平成 21 年度)

(<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/guide/Japan2009.pdf>)

【中央館】	通常期の平日	休業期(*)の平日	土・日曜・祝休日
開 館	8:40 ~ 22:00	8:40 ~ 17:00	12:00 ~ 18:00
貸出・返却・更新・予約	8:40 ~ 22:00	8:40 ~ 17:00	12:00 ~ 18:00
型式北一機以外の複写	9:00 ~ 16:30		-
他機関への相互利用 (複写, 資料の貸借)	9:00 ~ 16:30		-
レファレンス(参考調査)	9:00 ~ 17:00		-
一般書庫の利用	8:40 ~ 21:00	8:40 ~ 17:00	12:00 ~ 17:30
教員研究室の利用	8:40 ~ 17:00		-
貴重書庫・旧館書庫の利用	9:00 ~ 16:30		-
休 館 日	春季(4/1 ~ 4/3)および冬季休業期間中の土・日・祝休日年末年始(12/28 ~ 1/4), 試験期を除く毎月第 4 水曜, 夏季一斉休業日(8/13 ~ 8/14), その他の臨時休館日		

(*)休業期: 夏季(8/11 ~ 9/30), 冬季(12/25 ~ 1/10), 年度末(3月第 3 週 ~ 3/31)

【医学系分館】	通常期の平日	休業期(*)の平日	土・日曜・祝休日
開 館	9:00 ~ 21:00	9:00 ~ 17:00	12:00 ~ 18:00
貸出・返却・更新・予約	9:00 ~ 21:00	9:00 ~ 17:00	12:00 ~ 18:00
他機関への相互利用 (複写, 資料の貸借)	9:00 ~ 16:30		-
レファレンス(参考調査)	9:00 ~ 17:00		-
休 館 日	休業期間中の土・日・祝休日, 年末年始(12/28 ~ 1/4), 毎月第 3 水曜(17:00 ~ 21:00 開館) 夏季一斉休業日(8/13 ~ 8/14), その他の臨時休館日		

(*)休業期: 春季(4/1 ~ 4/3), 夏季(8/6 ~ 8/31), 冬季(12/25 ~ 1/10)

【薬学部分館】	通常期の平日	休業期(*)の平日	土・日曜・祝休日
開 館	9:00 ~ 21:00	9:00 ~ 17:00	12:00 ~ 18:00
貸出・返却・更新・予約	9:00 ~ 21:00	9:00 ~ 17:00	12:00 ~ 18:00
他機関への相互利用 (複写, 資料の貸借)	9:00 ~ 16:30		-
レファレンス(参考調査)	9:00 ~ 17:00		-
休 館 日	休業期間中の土・日・祝休日 年末年始(12/28 ~ 1/4), 夏季一斉休業日(8/13 ~ 8/14), その他の臨時休館日		

(*)休業期: 春季(3/13 ~ 4/3), 夏季(8/21 ~ 9/30), 冬季(12/25 ~ 1/10)

出典: 図書館利用案内 2009 を基に作成

資料 8 - 2 - - C 学生が希望する図書のニーズ把握方法 (<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/kibou/index.html>)



出典: 熊本大学附属図書館ホームページから抜粋

資料 8 - 2 - - D 附属図書館施設・整備状況 (<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/outline/index4.html>)

中央館		医学系分館		薬学部分館	
延面積	8,404 m ²	延面積	2,807 m ²	延面積	654 m ²
座席数	580 席	座席数	210 席	座席数	58 席
PC 席数	89 席	PC 席数	32 席	PC 席数	10 席
第 1 閲覧室	87 席	中央館の第 1 閲覧室以下は内訳の数			
自由閲覧室	98 席				
PC コーナー	85 席				
ロビー	48 席				
第 2 閲覧室	180 席				
個室コーナー	40 席				
第 1 教員研究室	24 席				
第 2 教員研究室	24 席				
第 3 閲覧室	79 席				
PC 席数	4 席				

出典：附属図書館調査資料を基に作成

資料 8 - 2 - - E 蔵書冊数 (<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/outline/index5.html>) (単位：冊)

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
和書	805,761	808,823	812,718	815,418	807,703
洋書	475,865	480,142	483,598	487,087	488,094
合計	1,281,626	1,288,965	1,296,316	1,302,505	1,295,797

出典：附属図書館調査資料を基に作成

資料 8 - 2 - - F 雑誌所蔵種類数 (<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/outline/index5.html>) (単位：種)

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
和雑誌	12,333	12,703	12,882	13,084	13,293
洋雑誌	6,968	6,887	7,088	7,041	7,057
合計	19,301	19,590	19,970	20,125	20,350

出典：附属図書館調査資料を基に作成

資料 8 - 2 - - G 「電子ジャーナル」及び「データベース」に係わる取組等

年度	主な取組等
平成 16 年度	電子ジャーナルの購読は各研究室等の予算で実施してきたが、「熊本大学学術情報基盤整備に係る基本方針」に基づき、財源の安定化を図るため、基盤経費の「附属図書館経費」により支援することとし、購入を一本化して、約 4,900 タイトルの電子ジャーナルを購読した。医療系や法律系の情報関連のデータベースを整備するため、EBMR(科学的根拠に基づく医療情報レビューデータベース)及び LEX/DB(法律情報データベース)を導入した。
平成 17 年度	電子ジャーナル約 4,700 タイトルを提供するとともに、図書館 Web ページを整備し、利便性の向上を図った。また、文献データベース(Web of Science)の検索実績を点検して、該当電子ジャーナルへのリンク機能を充実させた。さらに、熊本日日新聞記事データベースを導入した。これにより、地元新聞における掲載記事の検索が可能となった。平成 17 年度は、月平均は約 120 件のアクセスがあった。
平成 18 年度	電子ジャーナルが約 5,500 タイトルに増加した。また、Springer(812 誌)などのバックファイルを導入して、利用範囲の拡大を図り、学術情報の拡充と電子ジャーナルの安定的提供を促進に努めた。さらに、平成 19 年度に向けて、経費高騰への対策について検討するとともに、引用索引データベース Web of Science と Scopus を比較し、操作性、収録対象年・分野の広さ、著者名検索の優位性などから、Scopus を選定した。
平成 19 年度	電子ジャーナル及びデータベースに関する将来計画について検討した。平成 19 年度は、医学・薬学・工学・理学・教育・法律系を中心に電子ジャーナル及びデータベースの充実を図ることとし、電子ジャーナル約 5,400 タイトル、データベース 18 種の維持・提供に努めた。今後の学術情報基盤整備について、経費高騰への対応を含めて、次期中期計画における「図書館機能の高度化」等について検討を継続した。
平成 20 年度	電子ジャーナル及びデータベースの価格高騰が続く中、電子ジャーナル 5,500 タイトル、データベース計 18 種の継続・提供に努めた。平成 21 年度以降、現在導入している電子ジャーナル及びデータベースを継続的に導入できるように、平成 21 年度以降の予算措置について全学的な合意を得て、将来の値上げに対応できる予算体制を確立した。また、新規に ACS Legacy Archive を導入し、電子ジャーナルの充実を図った。

出典：附属図書館運営委員会資料を基に作成

資料 8 - 2 - - H 電子ジャーナルの利用可能タイトル数の推移

平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
約 4,900 タイトル	約 4,700 タイトル	約 5,500 タイトル	約 5,400 タイトル	約 5,500 タイトル

出典：附属図書館運営委員会資料を基に作成

資料 8 - 2 - - I 電子ジャーナル大手 4 社 (Elsevier , Springer , Wiley , Blackwell ,) のダウンロード件数の推移

平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
242,000 件	278,000 件	330,000 件	312,000 件	360,000 件

出典：附属図書館運営委員会資料を基に作成

資料 8 - 2 - - J 熊本大学学術リポジトリの構築に係わる取組等

年度	主な取組等
平成 16 年度	博士論文公開データベースシステムを Web 上で公開するため、公開機能を整備し、検索等の操作を整備して機能を向上させた。
平成 17 年度	博士論文 215 編の電子化を終え、紀要論文 553 編と統合して、熊本大学学術リポジトリとして公開した。
平成 18 年度	学術リポジトリ関係のソフトについて、メンテナンス契約を行い、安定稼働環境を整えた。また、学内説明会を行い、収録論文数約 1,200 編を達成した。
平成 19 年度	紀要掲載論文等の電子化を進め、収録論文数 4,500 編を達成した。
平成 20 年度	今年設立 60 周年を迎える本学では、過去に出版された 30 年史等の図書を学術リポジトリにて公開した。博士論文の登録も 500 編を超え、収録論文数は 6,000 編を達成した。

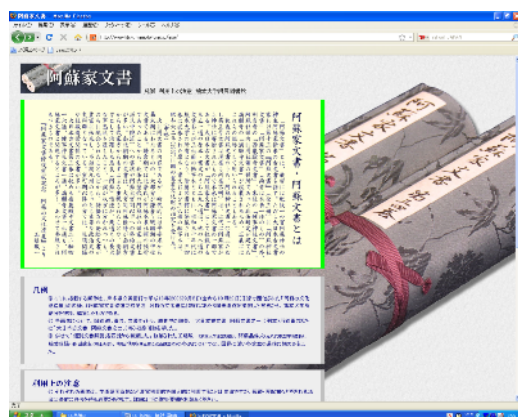
出典：附属図書館運営委員会資料を基に作成

資料 8 - 2 - - K 「熊本大学学術リポジトリ」の収録論文数 (平成 21 年 3 月現在)

収録論文数	内、博士論文	内、紀要掲載論文
6,116 編	580 編	4,864 編

出典：附属図書館学術リポジトリ投稿資料を基に作成

資料 8 - 2 - - L 阿蘇家文書等の Web 公開状況 (<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/aso/>)



出典：熊本大学附属図書館ホームページから抜粋

資料 8 - 2 - - M 入館者数及び開館日数 (<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/outline/index5.html>)

		平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
中 央 館	開館日数 (日)	331	335	335	334	336
	入館者数 (人)	334,387	329,837	321,970	375,916	378,847
医学系分館	開館日数 (日)	340	338	336	342	310
	入館者数 (人)	160,312	126,700	103,575	122,221	94,582
薬学部分館	開館日数 (日)	331	331	333	325	329
	入館者数 (人)	59,779	53,836	53,123	52,696	56,806
合 計	開館日数 (日)	1,002	1,004	1,004	1,001	975
	入館者数 (人)	554,478	510,373	478,668	550,833	530,235

出典：附属図書館調査資料を基に作成

資料 8 - 2 - - N 館外貸出冊数 (<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/outline/index5.html>) (単位: 冊)

	平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
中 央 館	57,139	57,662	52,004	52,194	55,124
(うち一般市民)	(2,931)	(2,935)	(3,099)	(3,318)	(3,595)
医学系分館	8,143	4,680	5,006	5,638	5,810
薬学部分館	1,624	1,193	1,384	1,300	1,231
合 計	66,906	63,535	58,394	59,132	62,165

出典: 附属図書館調査資料を基に作成

資料 8 - 2 - - 0 文献複写及び相互貸借 (<http://www.lib.kumamoto-u.ac.jp/outline/index5.html>) (単位: 件)

			平成 16 年度	平成 17 年度	平成 18 年度	平成 19 年度	平成 20 年度
中 央 館	文献複写	依頼	4,739	3,451	3,490	3,032	3,269
		受付	1,620	1,677	1,561	1,482	1,416
	現物貸借	依頼	791	799	791	801	764
		受付	274	415	378	481	473
医学系分館	文献複写	依頼	1,910	1,378	1,837	1,820	1,842
		受付	3,081	2,991	2,657	2,770	2,305
	現物貸借	依頼	41	38	40	31	33
		受付	13	9	10	3	12
薬学部分館	文献複写	依頼	628	632	446	371	439
		受付	661	539	251	333	258
	現物貸借	依頼	6	12	1	4	6
		受付	4	8	0	0	12
合 計	文献複写	依頼	7,277	5,461	5,773	5,223	5,550
		受付	5,362	5,207	4,469	4,585	3,979
	現物貸借	依頼	838	849	832	836	803
		受付	291	432	388	484	497

出典: 附属図書館調査資料を基に作成

【分析結果とその根拠理由】

図書館中央館は放送大学との合築により、医学系分館は医学教育図書棟の新築により、それぞれ整備を図り収容力の拡大等を図った。開館期間・時間の拡大を図り利便性の向上を図っている。現在、蔵書約 130 万冊、雑誌約 2 万種、電子ジャーナル約 5,500 タイトル等を有するほか、貴重資料である阿蘇家文書、細川家北岡文庫等を電子化し、Web 上で公開するなどのサービスも提供している。さらに、学術リポジトリを介して、大学の知的生産物である学術論文等約 6,000 編（内博士論文 580 編）を Web 上に公開するなど、大学の情報公開の一翼を担っている。

以上のことから、図書館が整備され、図書、学術雑誌、視聴覚資料その他の教育研究上必要な資料が系統的に収集、整理されており、有効に活用されていると判断する。

(2) 優れた点及び改善を要する点

【優れた点】

- 主要5キャンパスのキャンパスマスタープランを策定し、これに基づいた整備を計画的に行っている。
- 柔軟な施設利用を促進することにより教育研究の活性化を図ることを目的として、国立大学法人熊本大学施設の有効利用に関する要項等を策定し、施設マネジメントによるスペースの共有、競争的配分等、施設の有効活用のための工夫を行っている。
- 有線 LAN として基幹 10GB、支線 1 GB の通信速度を持つギガビットネットワークを敷設するとともに、無線 LAN として約 460 箇所のアクセスポイントを設置している。総合情報基盤センター、附属図書館及び各部局等に、約 1,350 台の全学情報教育及び自習支援のためのコンピュータを設置している。

【改善を要する点】

- 施設整備においては、バリアフリーをより一層推進する余地がある。
- 施設の有効活用のため、稼働率の低いスペースの再配分等による共用スペースの更なる拡大の余地がある。

(3) 基準 8 の自己評価の概要

教育研究組織及び教育課程に対応すべく、設置基準を上回る校地及び校舎等を有し、有効に活用されている。教育研究等を支援するための施設整備を行うとともに、ユニバーサルデザインの一環としてバリアフリー対策等も計画的、段階的に実施している。

有線 LAN として基幹 10GB、支線 1 GB の通信速度を持つギガビットネットワークを敷設し、無線 LAN として約 460 箇所のアクセスポイントを設置している。総合情報基盤センター 附属図書館及び各部局等に 約1,350 台の全学情報教育及び自習支援のためのコンピュータを設置している。本学構成員は、それらのネットワーク及びコンピュータを用いて学務情報システム (SOSEKI) にアクセスし、履修登録、成績参照等を行っている。

附属図書館中央館は放送大学との合築により、医学系分館は医学教育図書棟の新築により、それぞれ閲覧室の整備、収容力の拡大等を図っており、また年間の大半を開館し、より多くの者が利用できるように努めている。一般市民への図書館開放も行い、地域住民の生涯学習への支援も行っている。さらに、学術リポジトリを介して、大学の知的生産物である学術論文等を Web 上に公開している。